

平成31年度
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人岡山文化芸術創造 (旧公益財団法人岡山シンフォニーホール)	
施 設 名	岡山シンフォニーホール	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	23,291	(千円)
公演事業	17,110	(千円)
人材養成事業	2,714	(千円)
普及啓発事業	3,467	(千円)

1. 事業概要

(1) 平成31年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	岡山フィルハーモニック管弦楽団 第60回～第63回 定期演奏会	2019年5月26日 他	演目：ブラームス/交響曲第3番 他 出演：ハンスイェルク・シレンベルガー 他 ※第63回定期はコロナによる中止	目標値	5,520
		岡山シンフォニーホール		実績値	3,864
2	シンフォニーは友達!2019	2019年8月6日	演目：情熱のカルメン 他 出演：沖澤のどか 他	目標値	1,200
		岡山シンフォニーホール 全館		実績値	1,697
3	ベートーヴェン第九演奏会 2019	2019年12月1日	演目：ベートーヴェン/交響曲第9番 出演：村上寿昭 他	目標値	1,600
		岡山シンフォニーホール		実績値	1,450
4	岡山フィルハーモニック管弦楽団 ニューイヤーコンサート	2020年1月26日	演目：ロッシーニ/歌劇「セヴィリアの理髪師」 他 出演：片桐直樹 他	目標値	1,500
		岡山シンフォニーホール		実績値	1,350
5	岡山フィルハーモニック管弦楽団 津山特別公演	2020年2月2日	演目：ドヴォルザーク/交響曲第9番 他 出演：岸本萌乃加 他	目標値	450
		ベルフォーレ津山		実績値	600
6	テッド・ローゼンタール・トリオ×岡フィル Jazz Sound of New York ニューヨーカーが奏でる宵のJazz	2019年6月14日	演目：ガーシュイン/ラプソディ・イン・ブルー 他 出演：山本祐ノ介 他	目標値	1,000
		岡山シンフォニーホール		実績値	1,000
7	おかやま国際音楽祭 2019 下石井 3DAYS 「オーケストラの祭典」 コンサート	2019年10月12日	演目： ジョン・ウィリアムズ/ハリウッド万歳 他 出演：佐藤瞳 他 ※台風のため会場変更	目標値	1,200
		岡山市民会館 (予定：下石井公園特 設ステージ)		実績値	500
8	4台のピアノと8人のピアニストによる饗演	2020年2月16日	演目：長生淳/世界の行進曲メドレー他 出演：松本和将 他	目標値	1,000
		岡山シンフォニーホール		実績値	1,800
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

(2) 平成31年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ミュージカルワークショップ	2019年4月 ～2020年3月	講師：四宮貴久 他	目標値	82
		岡山シンフォニーホール他		実績値	131
2	あなたも岡フィルと共演しませんか シリーズXV I am a SOLOIST	2019年9月29日	演目：芥川也寸志/弦楽のための三楽章より 他 出演：岡山城東高等学校管弦楽部 他	目標値	入場者 850 参加者 60
		岡山シンフォニーホール		実績値	750
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

(3) 平成31年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	小・中学校音楽鑑賞教室	2019年6月13日	演目:小六禮次郎/烏城浪漫 他 出演:岡山フィルハーモニック管弦楽団 他	目標値	1,200
		岡山シンフォニーホール		実績値	1,051
2	ファミリーコンサート	2019年8月25日 他	演目:ビゼー/オペラ「カルメン」より「闘牛士」他 出演:横山奏 他	目標値	800
		真庭エスパスホール 他		実績値	856
3	レインボーコンサート	2020年1月12日 他	演目:坂本九/上を向いて歩こう 他 出演:岡山フィルハーモニック管弦楽団弦楽四重奏 他	目標値	400
		まび記念病院 他		実績値	230
4	岡山大学Jホール レインボーコンサート	2019年4月24日 他	演目:ドビュッシー/牧神の午後の前奏曲 出演:諸田大輔 他	目標値	1,800
		岡山大学Jホール		実績値	2,206
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

優れた音響性能を持ち、広域圏からのアクセス性の良さ、歴史文化エリアの中心に位置するシンボル性の高さ等を併せ持つ当ホールは、ホール付きオーケストラを文化装置として、地域社会の活性化に貢献すべく、以下の5つのテーマで事業を組み立て、様々なステークホルダーと連携し、幅広い対象者に向けた事業を展開した。

【文化芸術性・都市ブランドの向上】

音楽芸術の鑑賞機会の提供（オーケストラ公演、ジャズトリオとオーケストラの共演、ピアノフェスティバル）

【心豊かな教育への貢献】

オーケストラを活用した青少年向けコンサート、0歳児から入場できるファミリーコンサート、ホールフェスティバル

【明日を担う人材の育成】

オーケストラと共演できるコンサート「I am a SOLOIST」、ミュージカルワークショップ

【社会的包摂の取組推進】

ホール公演への招待（ひとり親家庭、東北震災被災者、西日本豪雨被災者）、医療機関・福祉施設等を訪問してのコンサート、大学機関と連携した大学構内にある施設でのコンサート

【岡山の活性化】

まちづくりの施策と連携した屋外でのオーケストラ公演（当日は台風19号の影響により、屋内開催に変更）

台風の影響による屋外公演の会場変更、新型コロナウイルス感染症の影響による公演（岡フィル定期1公演、病院2公演、大学施設1公演）、ワークショップ（2～3月実施予定）の中止など、当初予定していた最大限の効果を得ることはできなかったが、ミッションに沿った事業の組み立てにより、概ね計画した効果を生み出すことができた。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

当ホールが持っている強み（アコースティックな音響性能に優れたホール）と特色（ホール付きオーケストラを持つ）を最大限に活用して、自治体や教育委員会と連携して開催する青少年向けの鑑賞教室、親子コンサート、福祉施設や医療機関と連携して開催する社会包摂活動、まちの活性化としての屋外演奏など、ホールでのコンサートはもちろんのこと、ホール外でも積極的にコンサートを実施し、誰もが、どんなところでも気軽に音楽を楽しめる心豊かな環境づくりをしている。

ホール友の会員・岡フィル賛助会員（法人・個人）の増加、県と共同した新規事業（鑑賞機会の少ない県北部での事業展開）の立ち上げなど、活動の社会的・文化的価値の評価としての財政支援も増加しており、活動への期待度が高まっている。

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

【公演事業】

音楽を主体とした多様な舞台芸術を、幅広い対象者へ届け、鑑賞者の幅を広げ、地域における実演芸術の振興を図ることを目的に以下のアンケート項目により、達成度を確認した。

■会場：岡山シンフォニーホール

子ども(10代以下)の観客割合 8.4%[目標値5%]

岡山市外からの観客割合 32.2%[目標値40%]

地域への普及度(身近な人にも公演を勧めたいと思うか) 91.6%

■会場：岡山シンフォニーホール以外

子ども(10代以下)の観客割合 9.9%[目標値5%]

岡山市外からの観客割合 59.9%[目標値40%]

地域への普及度(身近な人にも公演を勧めたいと思うか) 94.9%

また、社会包摂の取組での公演招待については95組179人が参加した。

【人材養成事業】

地域の芸術文化を担うアーティストを育成するとともに、その表現の機会を提供する。また、地域の芸術文化を支えていく文化リーダーを養成し、地域の芸術文化振興をはかることを目的に各参加者が目標設定をし、達成度を確認した。

ミュージカルワークショップでは年度当初に立てた各自の目標に対して、年度途中での自己評価やグループディスカッションによる自己評価を実施。これは現状把握をすることで各自の課題認識やモチベーションを向上させ、目標達成への取り組みを促進し、成果発表(公演)に向けて更なる目標を掲げてレベルアップを目指す姿勢に繋がった。また、お互いの成長を認め合い、高め合うという質の高い学びの環境づくりができた。

I am a SOLOISTでは各自が目標を決めて取り組み、オーケストラと共演することの難しさ、楽しさを経験したことが、次の目標、今後の演奏活動に大きな影響を与えていることがわかり、表現の機会を提供する意義を感じた。

【普及啓発事業】

ホール付きオーケストラを活用して、未来を担う子どもたちや病院・福祉施設等日常、触れる機会の少ない方々を対象に本物の音楽を届け、心豊かな生活を送る一助となることを目的に鑑賞後の感想を確認した。

演奏会前後の心の変化で、子どもたちのアンケート(複数回答)によると「元気が出てきた」47%、「穏やかな気持ちになった」47%、「音楽や楽器をやりたくなった」40%と心の活性化と前向きな変化が見られ、教師の感想からも「子ども同士の会話が増え」「何事も前向きにがんばろうと生活全般に活力がみなぎった様子」がうかがえる等子どもたちの変化を知るいい機会となっている。

また、日常音楽にふれる機会の少ない方々を対象に開催した公演でも「元気をもらえた」「心とからだがりラックスした」「心が明るくなった」等公演前後の気持ちに変化があったとの回答は62%、公演に対する満足度は86%であった。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

各事業とも企画・立案から各関係機関との調整、広報、アーティストとの打合せなど、本番実施まで概ね計画通りに進めることができた。

ただ、屋外公演については台風 19 号の影響で代替会場として準備していた屋内会場での開催となり、天候の影響で当初見込んでいた集客(1,200人)は難しく、41.6%の達成率であった。

事業費については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、全体で要望比約 83%となっており、概ね当初の計画通りに進んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響による中止公演については以下のとおりであり、可能な限り支出を抑えたため、該当事業では事業費が減額となっている。

公演 1. 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 60～63 回定期演奏会 第 63 回定期演奏会中止 (3/22 予定)

人材 1. ミュージカルワークショップ 1 回中止 (2/29～3/1 実施予定)

普及 3. レインボーコンサート 全 5 公演中 2 公演中止 (3/4, 3/9 予定)

普及 4. 岡山大学 J-HALL レインボーコンサート 全 12 公演中 1 公演中止 (3/11 予定)

また、事業費が増額している事業「公演 5. 岡山フィルハーモニック管弦楽団津山特別公演」「公演 8. 4 台のピアノと 8 人のピアニストによる饗演」については、予測を大きく上回る反響があり、追加の広報や客席数の拡大を行ったことによる経費の増加であり、目標値を大きく上回るチケット売り上げにより、増額分の経費を十分に補填できているものである。

事業実施後も、鑑賞者・参加者アンケートの集計・分析や、事業スタッフ間での意見交換など、事業の自己評価および改善を行うことにより、継続的・発展的な事業運営につなげるように取り組んだ。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

当館のホール付きオーケストラ「岡山フィルハーモニック管弦楽団」（以下、岡フィル）は、定期演奏会をはじめ、若い音楽家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っている。

当館での定期演奏会や県北、屋外でのオーケストラ公演、小編成～フルオーケストラでの学校公演（2019年度実績 77 校）、0 歳児からのオーケストラコンサート（2019 年度実績 3 公演（県内 3 会場））、音楽家を志す人たちへのオーケストラとの共演機会の提供、病院・福祉施設等での公演（2019 年度実績 3 公演）、近隣の文化施設や観光地での演奏会、地元プロスポーツチームとの連携事業、街角コンサート（2019 年度実績 7 公演）など、幅広い層に向けた事業を実施している。

当館「岡山シンフォニーホール」や岡フィルのマスメディアへの露出度を上げる取り組みにも注力しており、「ミュージカルワークショップ」では、受講生や担当職員、講師が度々テレビやラジオ番組に出演。岡フィルの演奏会についても、担当職員や、岡フィル団員による曲目の魅力解説や演奏を交えた PR などを積極的に行っている。

2020 年 3 月より、岡フィルファンを増やす取り組みのひとつとして、地元紙「山陽新聞」による岡フィル首席奏者を紹介する連載記事もスタートしている。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

ホール職員の専門性や企画力を活かした事業も多く実施しており、中でもホール所有のコンサートピアノ 4 台（ヤマハ、カワイ、スタインウェイ、ベーゼンドルファー）と地元出身ピアニスト 8 人（松本和将 他）を起用した「4 台のピアノと 8 人のピアニストによる饗演」は、ソロ～4 台 16 手までピアノの魅力を存分に引き出し、チケットは完売、再演を熱望する声も多く上がっている。

夏休み子どもたちを対象としたホールフェスティバル「シンフォニーは友達！」では、オーケストラやオペラ、ダンスなど、子どもたちの様々な舞台芸術との出会いを効果的に演出し、興味・関心を引き出すことに成功。オーケストラとジャズトリオのコラボレーション、鑑賞機会の少ない県北地域での公演、屋外でのオーケストラ公演（当日は台風の影響により屋内開催）と、多様な内容で、幅広い対象者に向けて発信することができた。

普及啓発事業 岡山大学 J ホールレインボーコンサートの中の 1 公演、「音楽と辿る国吉康雄の旅路」では、新たな試みとして、岡山大学大学院教育学研究科「国吉康雄研究講座」と協働で、アートワークショップや対談、演奏を織り交ぜた公演を制作。地域住民に地域の文化資源を親しみやすく伝えるきっかけとなると同時に、事前に実施した学生と当ホール職員によるディスカッションでは、学生が地域の文化について考える機会となり、アートと音楽についての学術研究と当館のもつアートマネジメントノウハウを活かしたコラボ事業の展開となった。

新聞記事での取り上げ、ウェブサイトでの掲載、ソーシャルメディアを活用しての広報（出演者からの動画コメントを制作し配信）、公演後の動画配信等で情報発信にも力を入れている。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

【人材面】

当財団は、令和2年4月1日に他の文化財団と組織統合し、令和2年5月現在の常勤職員数は36人（内、正規12人）（令和元年度末20人（内、正規6人））となった。それぞれに蓄積してきたノウハウを共有し、更なる専門性を持つ機関へと強化していくべく、取り組みを進めている。

アートマネジメント、舞台技術などの専門職員を複数名擁しており、全職員が文化芸術の発展・普及に関わる専門性を持ち、業務に取り組めるよう、目標管理制度を導入している他、資格取得や講習受講を義務づけるとともに、積極的に各研修会・研究会への参加、他の劇場の視察などの外部研修の場を設け、劇場職員としてのスキルや意識の向上を図っている。

ホールサポーター（無償ボランティア）制度により、現在14人登録。公演当日の表周り（チケットもぎり、客席案内、会場係）として活動しており、公演当日の運営のほか、車椅子のお客様の案内方法や、AED講習を含む救急対応など、職員とともに研修に参加し、スキルアップを図っている。

【財政面】

平成28年度～令和2年度の5年間岡山市より指定管理を受けており、安定した施設の管理運営ができています。次期についても引き続き指定管理を受け、準備を進めている。

収支としては、平成30年度は文化庁補助金の大幅な減額により大きく赤字を出したが、平成29年度、令和元年度の収支は概ね均衡が図れている。

事業費としては、岡山県からの新規事業による負担金の増額、民間の賛助会員の増加など、収入増加に向けた戦略が実を結んでいる。また、これら支援者に対しては演奏会の案内や活動状況の報告を行うほか、首席指揮者や岡フィルメンバーとの懇親会などを通じてコミュニケーションをはかっている。

【各方面とのネットワーク】

東京藝大との連携（若い芽の育成）、岡山大学、岡山県立大学との連携事業の実施、岡山科学技術専門学校の学生のインターンシップ受け入れで将来の舞台技術者育成、さらに令和2年度からくらしき作陽大学の学生を劇場運営・事業企画のインターンシップとして受け入れる予定。

学校・病院・福祉施設等でのアウトリーチ事業、プロスポーツクラブやまちづくり団体との協働事業、地方公共団体との協働事業など、地域のステークホルダーとの有機的な連携を強化している。

【施設面】

常勤職員である舞台技術スタッフ2人、小ホール（イベントホール等）やスタジオ、楽屋関係を管理するフロアマネージャー2人により、施設や設備、備品等を日常的に点検、管理しており常に現状把握ができています。

基本的には長期修繕計画に則った運営としているが、日々の状況や利用者のニーズを反映し、指定管理者が実施する小修繕については柔軟な対応を行っている。